

会議録件名 2018年度第6回“夢”まちプロジェクト推進会議	主管課 町田市経済観光部産業政策課
日時 2018年10月18日(木) 午前10時30分～正午	場所 町田まちづくり公社 地下1階会議室
出席者 【委員】 井上副議長、米増委員、宮本委員、立木委員、鈴木委員 【中心市街地活性化協議会事務局】 町田商工会議所 三嶋氏、谷渕氏 町田まちづくり公社 佐藤氏、鈴木氏 【市事務局】 産業政策課 遠藤係長、増井 地区街づくり課 田中係長	

〈主な決定事項〉

- ・まちづくり部会が実施する住民アンケートについては、目的を明確にして内容を精査する。
- ・市役所が関連する中心市街地の事業の情報収集については、引続き庁内で調整する。
- ・次回の正副会議で、中心市街地商業活性化アドバイザー派遣事業の手配を検討する。
- ・産業振興計画の素案については、中活協事務局にデータを送信して周知に協力する。
- ・中心市街地の将来像の共有について、議論に必要な目的や前提条件を整理する。
- ・次回の第7回会議は、11月15日(木)に開催する。

1 「まちづくり計画」について

(1) 中活協からの報告

【まちづくり部会】

- ・直近の部会が延期になってしまった。12月上旬頃に再調整して、これまでのワークショップなどの取組みに関する取りまとめを行う予定。
- ・国土館大学の協力により、住民アンケートの素案が完成した。
⇒設問の表現に工夫して、ネガティブな印象を無くした方が良い。
⇒「歩き心地」について聞いてみるのが良いのではないか。
⇒部会として、このアンケートで何を探りたいかという目的を確認した方が良い。
⇒今後は、この素案を基に部会で内容を検討していく。

【にぎわい部会】

- ・これまで同様に、町田ハロウィン実行委員会をサポートしている。
⇒実行委員会では、当日のアンケートをしっかりとやっていくという話が出ている。
- ・イルミネーションについて、個別に大型店へヒアリングをした。
⇒時間があまり無いのが課題だが、準備を進めて行く考えである。

【広報部会】

- ・10/4(木)第2回目のメディアミーティングを開催した。
⇒Googleカレンダーによる情報共有の使い勝手について確認した。ゆくゆくは、街の人達にもご覧いただけるものにしたいと考えている。

⇒どのレベルの情報まで出すのが課題だったが、「出せるものは全て」ということとなった。
⇒市広報課と調整した結果、中活協をリリース先とすることは可能であった。引続き調整する。

【全体】

- ・オリンピック・パラリンピックのフラッグ掲出の協力依頼について、町田市商店会連合会の林会長と話を聞いた。現在中心市街地においては、9商店会184箇所掲出する予定。
⇒今回協力できなかった商店会も協力の意思はあったので、大会本番に向けて取組んでいきたい。
- ・11月16日(金)に平成30年度中心市街地活性化協議会関東ブロック交流会を柏市で実施する。
- ・11月13日(火)に開催する今回の協議会では議決案件が無いので、中間報告により現状の取組みを共有する。
- ・10月24日(水)に、国土館大学と協定書の調印式を行う。
- ・中心市街地活性化基本計画の認定に関する調査・研究が必要という意見が正副会長会議で出た。
⇒次回の正副会議で、中心市街地商業活性化アドバイザー派遣事業の手配を検討する。

(2) 市からの報告

【産業政策課】

- ・現在、産業振興計画の改定を行っている。
⇒今回は、将来を見据えながら10年の計画として策定する。併せて、5年の実行計画を策定する。
⇒「ビジネスする人に心地良いまち」をテーマとして、新しい環境に対応するチャレンジを支援したいと考えている。
⇒素案が完成し、パブリックコメントを実施するので意見をいただきたい。
⇒各商店会へは個別に案内するが、大型店等への周知協力をお願いしたい。

【地区街づくり課】

- ・モノレールの延伸による駅前再編や、芹ヶ谷公園の再整備をきっかけに、市と中心市街地活性化協議会とで、まちの将来像について、改めて議論し共有する。
⇒前提条件等が変わってくる事もあるが、あくまでもまちづくり計画に掲げる将来像が基本となる。
⇒原町田大通りにモノレールが来ることで、交通網が変わるなか、どこまで歩行者優先のラインとして考えていくか。
⇒商店街のところは車両を通したくない。
⇒庁内の検討のなかで動きがあれば、協議会等で情報共有を図っていく。
⇒今後も議論をするうえで、目的や条件を整理した方が良い。

2 その他

(1) 次回会議の開催予定について

次回会議は、11/15(木)10:30～12:00を予定する。
今後の会議は、12月20日(木)、1月17日(木)の同時刻を予定する。